

REPT

NPO 法人 新エネルギーを すすめる宝塚の会

No.10

2014年11月12日発行
理事長：中川慶子
〒665-0875
宝塚市中筋山手 3-2-10
(TEL/FAX0797-88-1381)
<http://rept.or.jp>

センターフェスティバル2014 市民企画支援事業

新エネルギーで自然共生のまちづくり 梶原町の実践経験に学ぶ

と き：2014年12月5日（金）14:00～16:30

ところ：宝塚市立男女共同参画センター 3・4

お 話：那須 俊男さん

（梶原町職員・「環境モデル都市」担当）

参加費：無料

保 育：1才～未就学児（無料）要予約：0797-86-4006

☆ ～ ☆ ～ ☆ ～ ☆ ～ ☆ ～ ☆ ～ ☆ ～ ☆ ～ ☆ ～ ☆

梶原町をご存じでしょうか。ユスハラと読みます。四国高知県の西部、四万十川源流域に位置し、歴史的には坂本龍馬をはじめ土佐藩の志士が脱藩の旅をした道筋の町です。

人口約 4,000 人の四国カルストに抱かれた山間の自然豊かな町で、森林・水・風・太陽など自然エネルギーを利用した町づくりを 3・11 のずっと前から実践しています。

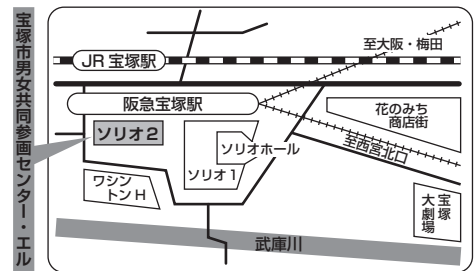
たとえば、町の 91% を占める森林の木材を使った町の総合庁舎やモデル住宅の建設、間伐材を加工しペレット・ストーブに利用、風況のよい山の稜線に設置した風力発電、小水力発電で中学校や街路灯の電力供給、地熱利用の温水プールなどなど。地域の特性を活かした再生可能エネルギーの利用を広く追求して、2009 年には「環境モデル都市」となっています。

また 風力発電の売電益によって、住宅の太陽光発電パネルの設置補助や森林の間伐助成を賄うなど、循環型環境のみならず、利益循環の手法も素晴らしいです。

町の担当職員的那須俊男さん（西宮市のご出身）に遠路はるばるお越しいただき、実践経験を伺います。なんととっても梶原町はかなり先を走っているパイオニア的存在。わたくし達に役立つたくさんのヒントがいただけるものと期待しています。成功例だけではなく、上手くいかなかったことなども伺い、わたくし達が乗り越えてゆかなくてはならない課題や困難も教えていただきたいものです。

ごいっしょに再生可能エネルギーのこれからを話し合ひましょう。

平日の午後ですが、みなさまお誘い合わせて多数ご参加ください！



再生可能エネルギー先進地のデンマークを視察してきました

(コペンハーゲン→オーフス→サムソ島→コペンハーゲン 2014年9月28日～10月5日)

今回、全国ご当地エネルギー協会の幹事として、デンマーク政府の用意した視察に大湊村の人たちとともに加わり、各地を見て回った。私自身は、施設そのものよりも「誰がどう関わり、どんなふう維持して、どこをめざしているのか」に興味を持った。デンマークが一日で変わったわけではないということを知るところから始まった視察。バイオマス発電を手掛けるランポール社は、彼らの持つ技術をすでに世界展開している。さまざまな再エネ技術を日本も有効活用させてもらえばよいのにと感じた。燃やすだけでエネルギーを取り出していない（一部のみ利用はしているが...）日本の状況と照らし合わせると、どうにか技術提携できないものかと思う。日本に技術がないのか、あっても活用していないのか？これから先、やらなくてはいけないことはあまりにも多い。



また、オーフス川の気候変動適用プロジェクトが手掛けるウォーターフロント計画などはまちづくりそのものである。気候変動による浸水地域を減らそうという取り組みで、かさ上げや運河に水門を設けたりする工事が進んでいた。今でも淀んでいる運河の流れがこの工事によってどうなるのか、海拔の低い国の自然条件の厳しさを見た気がした。工事そのものは大きなもので、これは大手ゼネコンの仕事であろう。

「Energy Service Aarhus」ここの取り組みは私にとってはとても勇気づけられるものだった。長く続く市民活動から生まれた、行政と共に成長し続ける団体。各地に相談窓口としての拠点を置き、省エネ啓発活動をしている。こういったものが日本にはない。本当は一番必要なものなのではないかと思う。気楽に尋ねることができて、いつでも答えるメンバーがいる。実際に動くときにはお金もきちんともらうシステム。行政の下請けではなく、自分たちの足元から変えていこうという働き方を大いに見習いたいし、私たちにもできると思う。まずは仕組みづくりが大切！



「サムソ島」(デンマーク国内には6000基を超える風車がある)



当たり前のように風車があるこの島でも、島内の人の意識には温度差があるということを知った。ラムサール条約に守られた地域には何も作ることができない。だからこそ景観が守られている。守るためにしなければいけないこと、できることはやっていくことのバランスが必要だと思う。外から見れば最高に見える人たちが、「毎日、目の前のことをこなすことで精一杯」と話すのを聞いていると、自分たちはまだまだこれからという気持ちになった。教育機関としても機能している、サムソエネルギーアカデミーのような実践組織も大事で、日本各地にこういったところがほしい。

非営利型株式会社 宝塚すみれ発電 代表取締役 井上保子

「再生可能エネルギー相談窓口業務 始まりました！」(11月4日開設)

再生可能エネルギーなんでも相談。お気軽にお尋ねください。(宝塚市の委託事業です)
フリーダイヤル 0120-34-1733 午前10時～午後4時(祝祭日土日除く)

再生可能エネルギーをみんなで(若者と一緒に)考える懇談会 in 甲子園大学 (2014年10月18日)



私たちの念願の、大学で「学生を交えた」セミナーの開催が実現しました。甲子園大学は「食と心の充実」を掲げており、管理栄養士の資格試験合格率が非常に高い学校です。食のスペシャリストを養成するうえで、西谷の農家ヘインターンシップで農業体験も行なっています。エネルギーと農業と食を結びつけることは不思議でもなんでもないということを、わかりやすく講義してくださるのは農水省におられた武本俊彦さん。「儲かる農業論～エネルギー兼業農家のすすめ～」という本を慶応大学教授の金子勝さんと共著で出版されています。

もっと聞きたかった！という感想が寄せられるほど、具体的なお話でした。これからの農家は食べものも作るけれど、エネルギーも創っていくよ、というのがエネルギー兼業農家です。再生可能エネルギーのもとには太陽や水、風などです。それらを生み出す力が大きい地域は農山漁村なのです。

食と農業までは結びつけても、そこにエネルギーをくっつけて考えることが出来なかったという人たちが、「そうか、こんなこともできるのか」というきっかけになったのではないかと思います。実際、会場には農家の方も来られていて、のちほど話をしていたら「バイオマスによる熱利用をハウス栽培で行なってみたい」という意見も出てきました。農家の経営安定にもつながる再生エネルギーの促進に向けて一歩を踏み出す一助になったシンポジウムでした。今後も継続してやっていきたいテーマのひとつであり、行政と大学、民間事業者がタイアップした新しい形の提案が出来たと思います。(イノウエヤスコ)

ワールドカフェでは

講堂での武本俊彦氏の講演は充実した内容で終わり、本会のワークショップでの参加者の共有最新情報になったように思われます。

小休憩の後、1階の大学食堂に移り、全員参加のワークショップが3時過ぎから4時過ぎまで持たれました。参加者の多数は生産者ではなく消費者であり、日常改めて「食・農・エネルギー等の問題」に関してどれほどの関心を寄せておられるかは未知数です。



オープンなワールドカフェ形式のワークショップでは、自由に話しあい、メモ用紙に自分で記載し20分毎にテーマの変わるテーブルに移動する形式でした。1テーブルには10人前後、10個前後のテーブルが用意されました。住民も学生も農業の方達の会話もはずみ、違った分野の方の話は新鮮で興味深いものでした。甲子園大学の栄養学関係の先生方の参加がカフェの雰囲気をもっと盛り上げ、住民には今の大学の様子も垣間見られたのではないかと思います。1時間後にスケジュールは完了、データを読み解きまとめを共有するところは宿題になりました。後日、市の広報紙でご覧いただけるかと思えます。若い学生さん達からは食を中心に意欲的に取り組んでおられる姿を、農業の方からは貴重な現場の話を伺えました。

普段は交流の少ない参加者達ですが、超高齢社会に向かって、これからの社会が存続する為には「浪費にならないよう消費を考える」、特に「エネルギーがすべての問題に関連し、他人事ではないのだ」という共通の認識があることを再認識でき、それを私達は今回の懇談会の何よりの収穫であったと思います。(MR)

お知らせ

◎ 豊中の自然エネルギーを考える市民環境フォーラム

11月15日(土) 14時～16時 豊中市立環境交流センター 500円
 豊中自然エネルギー推進市民の会 090-9889-2751

◎ たからづか市民環境フォーラム 2014

11月15日(土) 13:00～ 宝塚ホテル 環境政策課 申込:0797-77-2070

◎ 「親子でつくる自然エネルギー工作教室」おひさまで遊ぼう! (宝塚市・宝塚すみれ発電共同事業) 小学3年生以上 要予約 0797-77-2361 2000円

11月16日(日) 13:30～15:00 宝塚市勤労市民センター 2F多目的室

◎ 持続可能な環境? 「公害問題の歴史から われわれは、何を学んだのか」

11月22日(土) 10:00～17:00 神戸大学・国際文化学部、生協食堂
 石井亨、ポール・ジョバン、宮本憲一さん他 申込:078-803-7435

◎ ギャップ永遠の輝き ユニセフチャリティコンサート (チャリティ先に入れて頂きました^^♪)

11月23日(日) 13:00開場、14:00開演 兵庫県立芸術文化センター

◎ 新エネルギーで自然共生のまちづくり 四国梶原町の実践経験に学ぶ

12月5日(金) 表記

◎ 宝塚サイエンスカフェ 市立男女共同参画センターフェスティバル企画

12月6日(土) 10:30～12:00 エコプロフィット

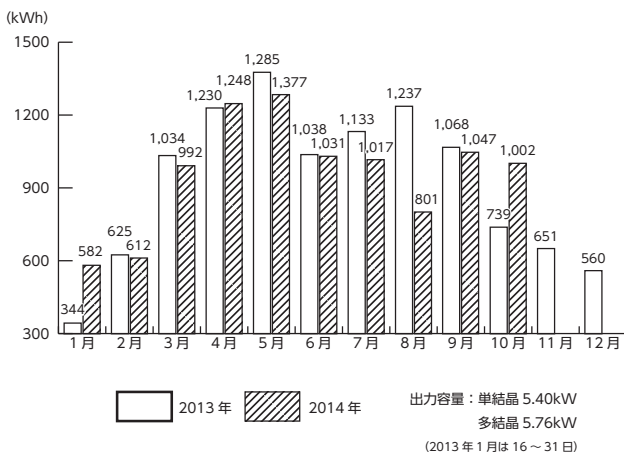
◎ 宝塚すみれ発電所の取り組みに学ぶ 市民がつくった発電所って素晴らしい!

12月6日(土) 14:00～16:00 500円 保育あり
 とよなか男女共同参画推進センター「ステップ」セミナー室1
 脱原発で生きたい女たち・豊中 090-1143-6158

～*～

- ☆ 前号でニュースのネット配信の呼びかけをさせていただきました。お応えくださったみなさま、ありがとうございました。次号からネット配信をご希望の方はHPのお問い合わせ欄からご連絡をお願いします。
- ☆ 今年度の会費未納の方に用紙を入れさせていただきますので、振り込みをよろしくお願ひいたします。入れ違いになった場合にはお許しを……。
- ☆ 「共感寄付」のチラシを同封しました。ご協力をお願いいたします。ご友人にもお広めください! (慶)

宝塚すみれ発電所 第1号 発電実績



宝塚すみれ発電所 第2号 発電実績

